

コロナ禍の水際対策緩和で2年9カ月ぶり 旅客を乗せて運航再開 下関港と博多港～釜山港への航路

下関港～釜山港：関釜フェリー株式会社「はまゆう」（総トン数7747トン）

博多港～釜山港：カメラライン株式会社「ニューかめりあ」（総トン数10862トン）

日本政府による新型コロナウイルス感染症の水際対策の一環で、旅客を乗せての運航を2020年3月から停止して、貨物輸送のみの運航を行っていた両社。

水際対策の緩和により、日韓の国境を越えた旅行を楽しむ人たちからも喜びの声が聞かれ、韓国からの旅行客を迎える下関市と福岡市の、さらなる発展と観光業界の盛り上がり期待されている。

■ 2022年10月、旅客をのせての運航を再開(日本政府によるコロナ禍の水際対策緩和)

◇「はまゆう」関釜フェリー(株)：2022年12月16日に下関～釜山航路

再開当日、旅客を乗せた運航再開を祝して下関国際ターミナルでセレモニーを開催し、前田晋太郎下関市長から「インバウンド誘致に力を入れ、観光業に携わる人たちの活力にしていきたい」とあいさつが述べられた。また「はまゆう」の西村正勝船長に花束が贈呈され、くす玉を割って再開を祝い、これからの活躍が期待された。

◇「ニューかめりあ」カメラライン(株)：2022年12月23日に博多～釜山航路運航

「祝・運航再開」バージョンの御船印を「ニューかめりあ船内売店」のみで1月から3月までの期間、販売することとなり、博多港からの乗船客の復活に期待している。